



# 大同メタル工業株式会社

## 2024年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

2024年2月9日

[東証プライム市場、名証プレミア市場]

証券コード:7245

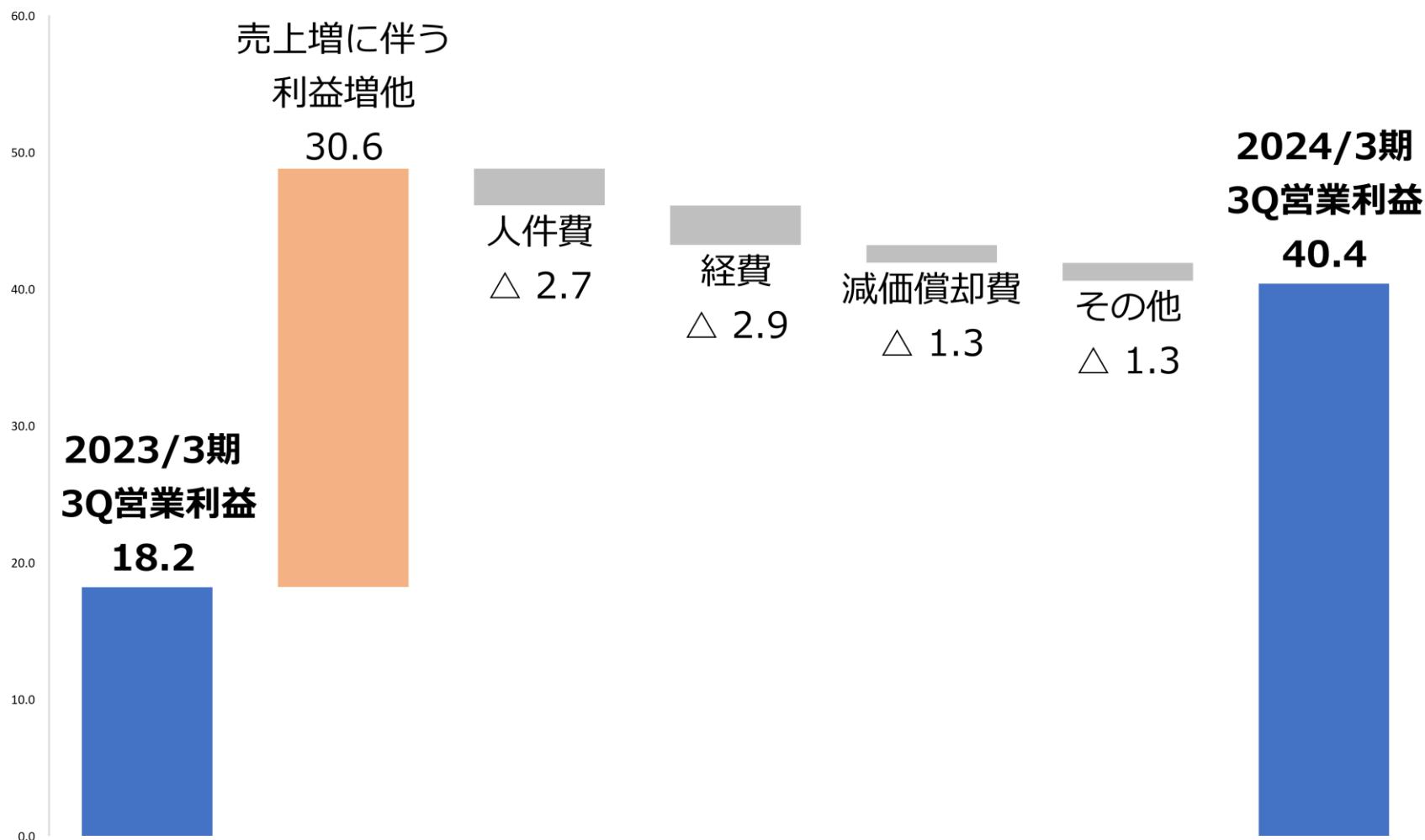
連結	実績		前年同期比	
	2023/3期 第3四半期	2024/3期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	87,596	96,997	9,401	10.7%
営業利益 (営業利益率)	1,826 (2.1%)	4,046 (4.2%)	2,219 (2.1%)	121.5%
経常利益 (経常利益率)	2,020 (2.3%)	3,721 (3.8%)	1,701 (1.5%)	84.2%
親会社株主に帰属する 四半期純損益 (純損益率)	△ 2,375 (△ 2.7%)	931 (1.0%)	3,306 (3.7%)	-
自己資本当期純利益率 (ROE)*	△ 5.2%	2.0%	7.1%	-
自己資本比率	34.9%	35.1%	0.1%	-
純有利子負債 (有利子負債-現預金)	41,687	35,445	△ 6,242	△ 15.0%
為替レート(1USD/円)	144.81	149.58		
為替レート(1ユーロ/円)	142.32	158.00		

左記為替レートは  
各期9月末TTMレート

\*ROEは、親会社株主に帰属する四半期純損益を年換算し算出しております。

# 連結営業利益の増減要因【実績】

単位：億円



人件費増・経費増や減価償却費増等により約8.2億円利益減があったものの売上増に伴う利益増他で約30.6億円の利益増があり、前年同期比約22.1億円増益

連結	実績	予想	前年度比	
	2023/3期 通期	2024/3期 通期	増減額	増減率
売上高	115,480	128,000	12,519	10.8%
営業利益 (営業利益率)	2,824 (2.4%)	4,700 (3.7%)	1,875	66.4%
経常利益 (経常利益率)	2,909 (2.5%)	4,200 (3.3%)	1,290	44.3%
親会社株主に帰属する 当期純損益 (純損益率)	* △ 2,208 (△1.9%)	1,200 (0.9%)	3,408	—
為替レート (1USD/円)	132.70	141.83		
為替レート (1ユーロ/円)	141.47	157.12		

左記為替レートは  
各期12月末TTMLレート

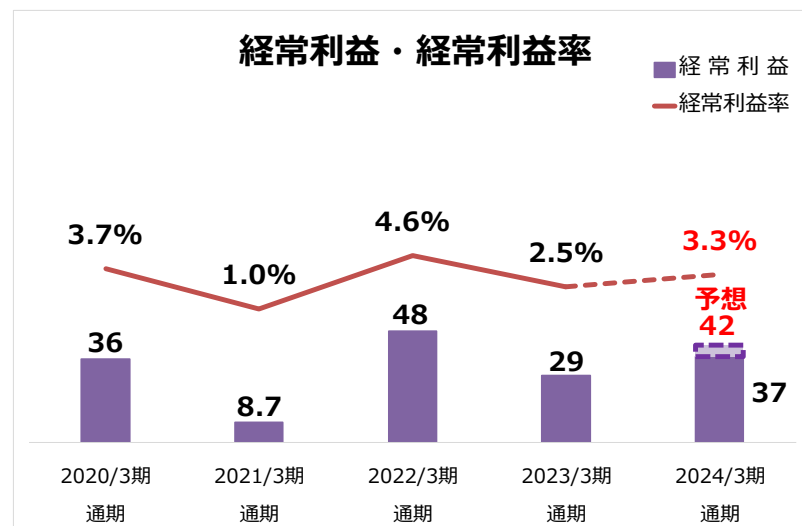
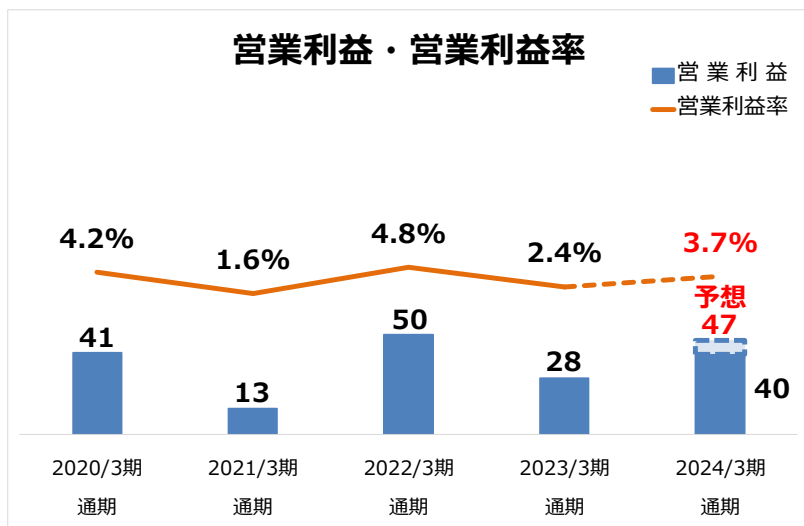
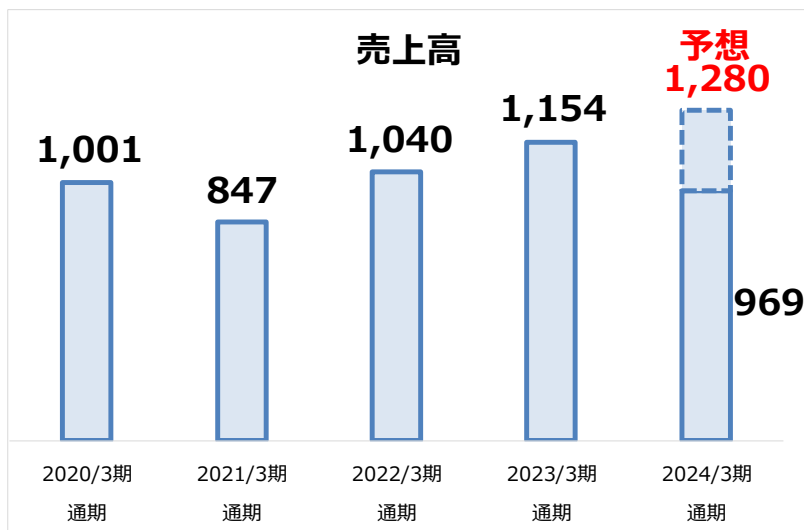
※連結子会社であるDMキャストリングテクノロジー(タイ) Co., Ltd.の固定資産減損を2023年3月期 第2四半期で計上した影響

(予定)

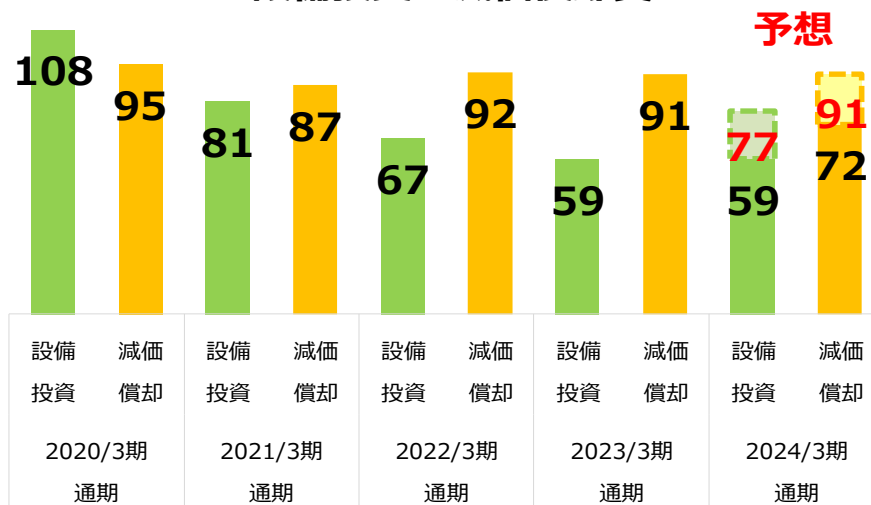
<配当金推移>	2020/3期	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期
中間	20円※	10円	10円	10円	2円
期末	15円	10円	15円	2円	8円
年間	35円	20円	25円	12円	10円

配当性向	60.1%	888.7%	61.4%	—	39.3%
利回り (期末株価ベース)	6.5%	3.4%	4.4%	2.3%	—

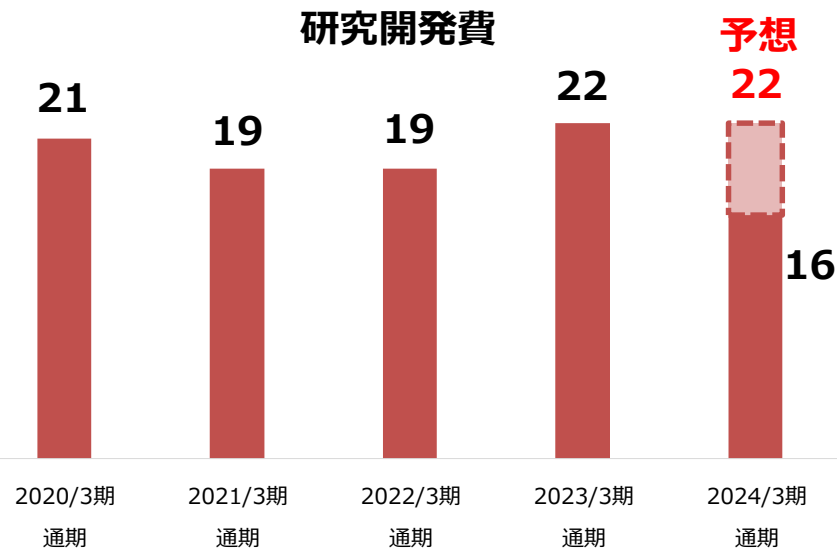
※ 2020年3月期中間配当金の内訳 は普通配当15円、記念配当5円です。(創立80周年記念配当)



## 設備投資・減価償却費



## 研究開発費



前年同期比

## 【売上高】

## 【営業損益】

セグメント	売上高 構成比	前年同期比		前年同期比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
自動車用 エンジン軸受	53.9%	3,617	7.3%	1,598	31.4%
自動車用 エンジン以外軸受	15.6%	439	3.0%	49	2.5%
非自動車用軸受	12.5%	1,741	16.4%	756	49.8%
自動車用 軸受以外部品	16.0%	2,965	23.2%	△ 79	—
その他	2.0%	438	28.1%	36	13.8%
セグメント間消去		198		△ 142	
全体合計：		9,401	10.7%	2,219	121.5%



## 自動車用エンジン軸受

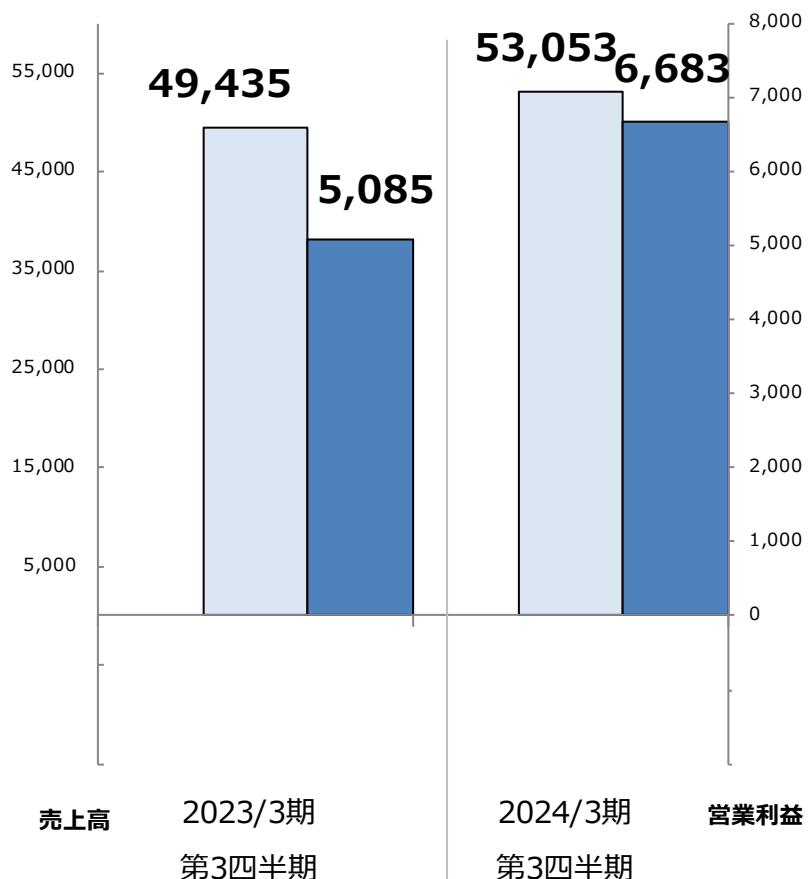
(セグメント間消去前)

前年同期比

□ 売上高

■ 営業利益

◎ 増収/増益要因 △ 減収/減益要因



### 【売上】 +3,617 (+7.3%)

- ◎ 日本：乗用車では半導体供給不足が緩和されたことの影響や新型車の好調による大幅な受注増
- △ 日本：中国向け産業機械用エンジンの販売不振や東南アジア（インドネシア、タイなど）における需要減退に伴う受注減
- ◎ 欧米：半導体供給不足が緩和されたことによる受注増
- ◎ 韓国：北米でのSUV車などの販売好調による受注増
- △ 中国：日系メーカーの需要減退による受注減

### 【営業利益】 +1,598 (+31.4%)

- ◎ グローバルな増収による影響

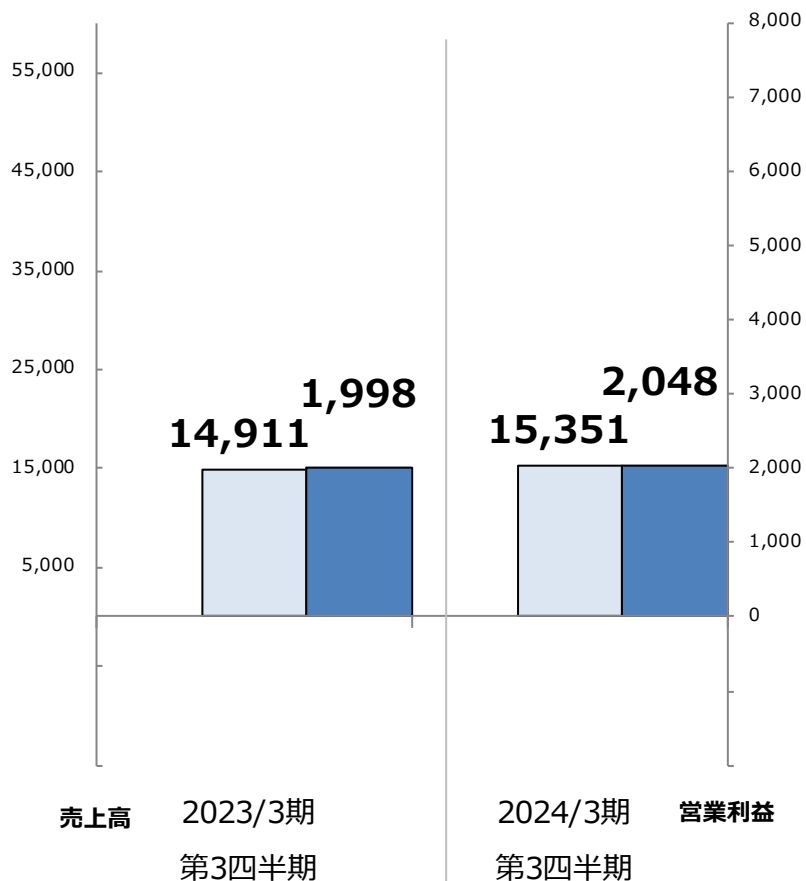
## 自動車用エンジン以外軸受

(セグメント間消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高  
■ 営業利益



**【売上】 +439 (+3.0%)**

- ◎日本：半導体供給不足が緩和されたことによる受注増
- ◎欧州：需要反動に伴う受注増

**【営業利益】 +49 (+2.5%)**

- ◎欧州の需要反動に伴う増収による影響

## 非自動車用軸受

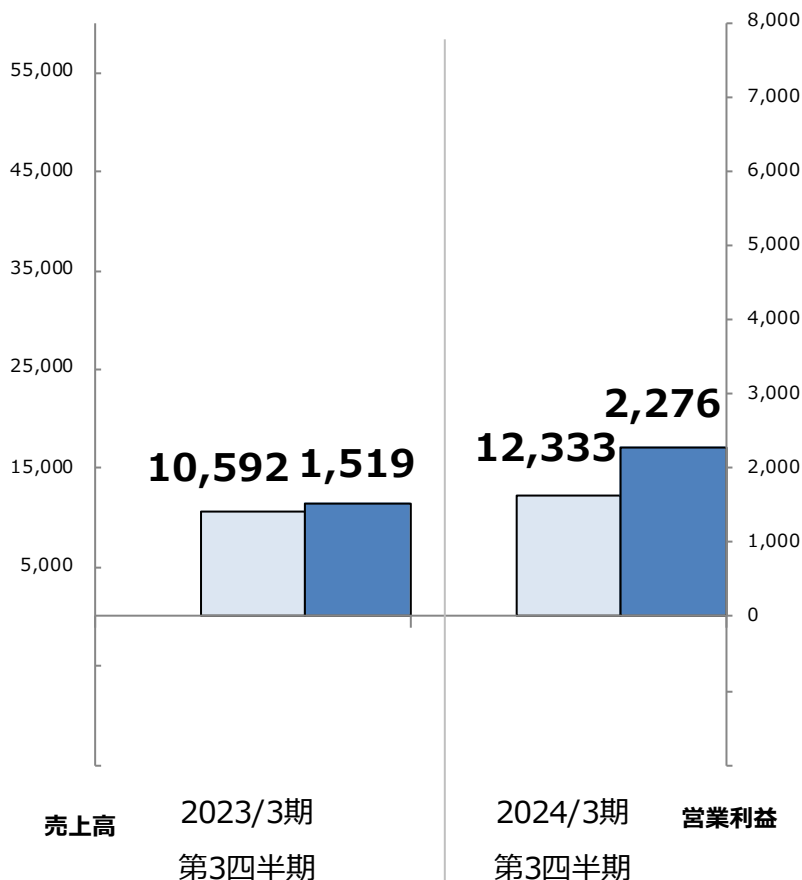
(セグメント間消去前)

前年同期比

□ 売上高

■ 営業利益

◎ 増収/増益要因 △ 減収/減益要因



**【売上】 +1,741 (+16.4%)**

◎ **船舶分野：**

コンテナ船などの大型船の需要の高まり、中国向け開拓の継続やコロナ禍からの回復によるサービスパーツの受注増

◎ **建設機械分野他：**

鉱山機械用などの需要の底堅い推移や発電機などに使われる中高速エンジン用軸受の受注増

◎ **エネルギー分野：**

天然ガスなどの燃料を使用した高効率な発電機ガスタービン用軸受の好調な需要、サービスパーツの受注が増えたことや石油精製プラント向けの圧縮機用軸受の開拓などが実ったことによる受注増

**【営業利益】 +756 (+49.8%)**

◎ 開拓による増収や販売価格の改善による影響

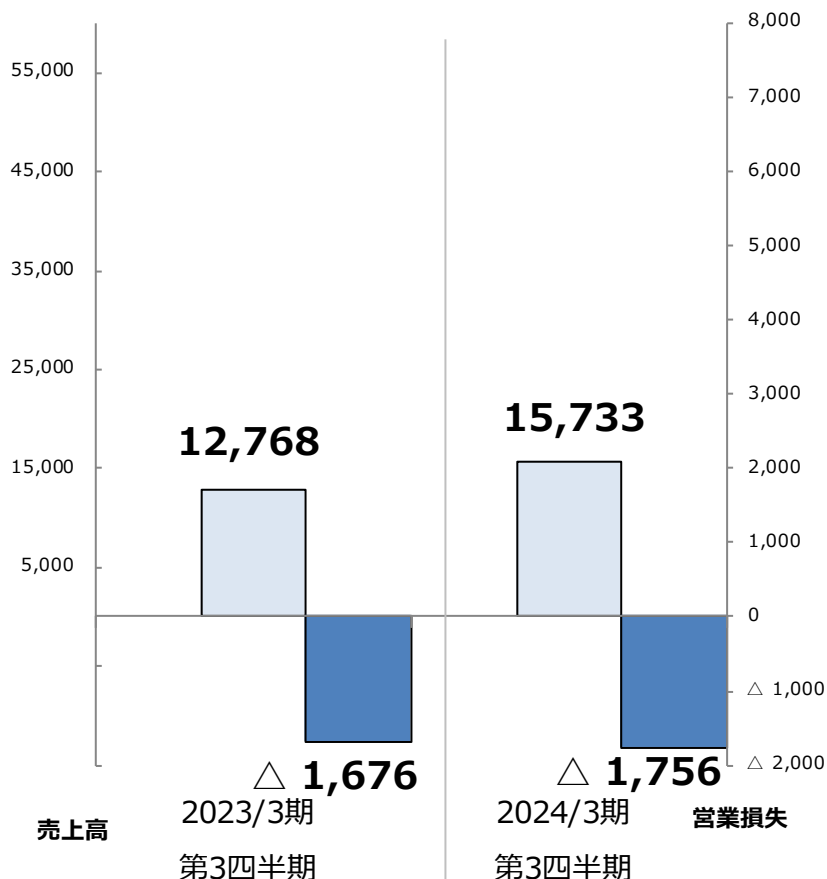
## 自動車用軸受以外部品

(セグメント間消去前)

前年同期比

□ 売上高  
■ 営業損失

◎ 増収/増益要因 △ 減収/減益要因



**【売上】 +2,965 (+23.2%)**

- ◎ **アルミダイカスト製品**：  
新規に納入する電動自動車用部品の需要増による受注増
- ◎ **精密金属加工部品**：  
日米で半導体の供給不足が緩和されたことによる需要の増加や北米向け新規品のオーダー急増

**【営業損失】 △79 (-)**

- △ **精密金属加工部品**：  
納期対応による物流費増加の影響

## その他

(セグメント間消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高  
■ 営業利益



**【売上】 +438 (+28.1%)**

◎ 金属系無潤滑軸受は市況の回復、開拓活動に伴う受注の増加やポンプ関連製品事業における設備投資の再開による旺盛な需要に伴う受注増

**【営業利益】 +36 (+13.8%)**

◎ 増収による影響

※「その他」の区分は、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、電気二重層キャパシタ用電極シート、不動産賃貸事業等を含んでおります。

前年同期比

## 【売上高】

## 【営業損益】

所在地	売上高 構成比	前年同期比		前年同期比	
		増減額	増減率	増減額	増減率
国内	52.0%	5,092	9.0%	1,470	130.6%
アジア	25.6%	3,145	11.5%	△ 362	△ 74.8%
北米	12.8%	2,395	18.7%	987	246.0%
欧州	9.6%	1,050	10.1%	197	—
内部取引消去		△2,282		△ 73	
全体合計：		9,401	10.7%	2,219	121.5%

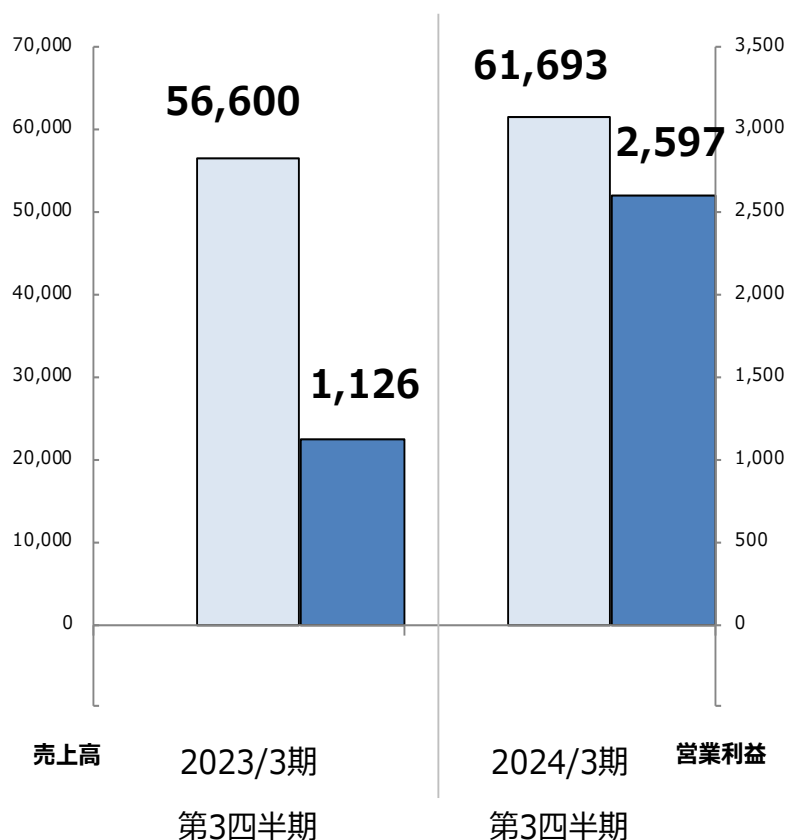
国内

(内部取引消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高  
■ 営業利益



**【売上】 +5,092 (+9.0%)**

- ◎乗用車関連の半導体供給不足が緩和されたことによる受注増
- ◎非自動車用軸受の需要増や開拓などに伴う受注増

**【営業利益】 +1,470 (+130.6%)**

- ◎増収による影響

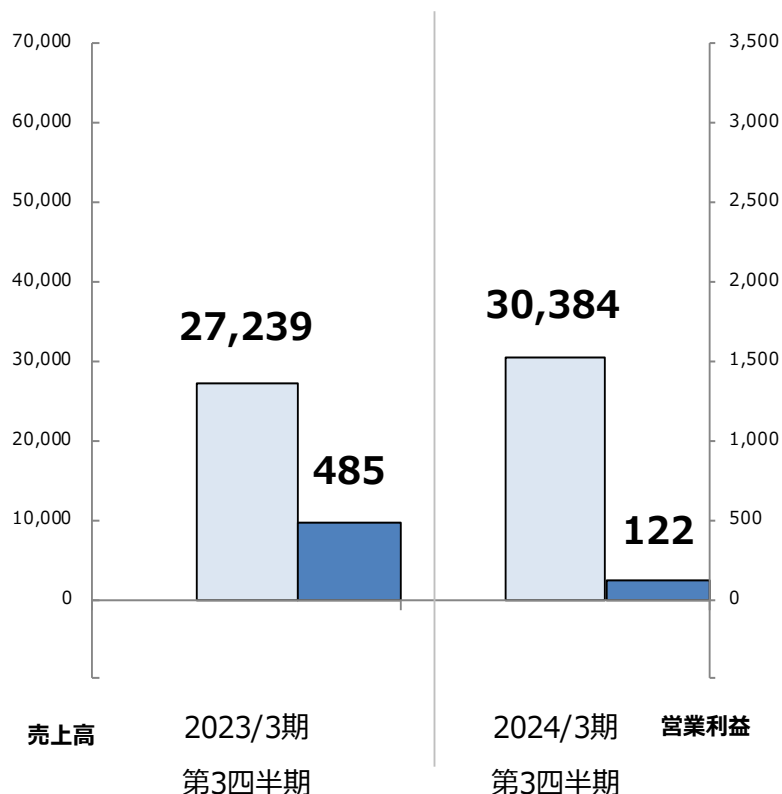
## アジア

(内部取引消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高  
■ 営業利益



**【売上】 +3,145 (+11.5%)**

- ◎タイ：新規に納入する電動自動車用部品の需要増による受注増（アルミダイカスト製品）
- ◎韓国：北米でのSUV車などの販売好調による受注増
- △中国：日系メーカーの需要減退による受注減

**【営業利益】 △362 (△ 74.8%)**

- ◎韓国：付加価値製品の増加による影響
- △中国：減収の影響
- △精密金属加工部品の減収や納期対応による物流費増加の影響



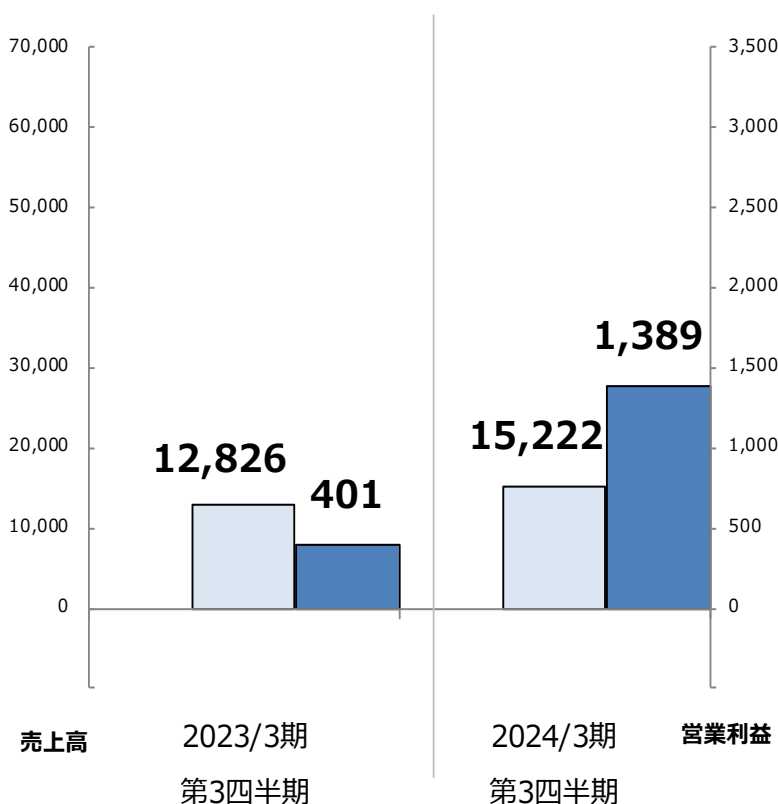
## 北米

(内部取引消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□ 売上高  
■ 営業利益



**【売上】 +2,395 (+18.7%)**

- ◎ 乗用車関連の半導体供給不足が緩和されたことによる受注増
- ◎ 建設機械分野：鉱山機械用などの底堅い需要の推移による受注増
- ◎ 精密金属加工部品：半導体の供給不足が緩和されたことによる需要の増加や新規品のオーダー急増

**【営業利益】 +987 (+246.0%)**

- ◎ 付加価値製品の増加による影響
- ◎ 精密金属加工部品の増収による影響

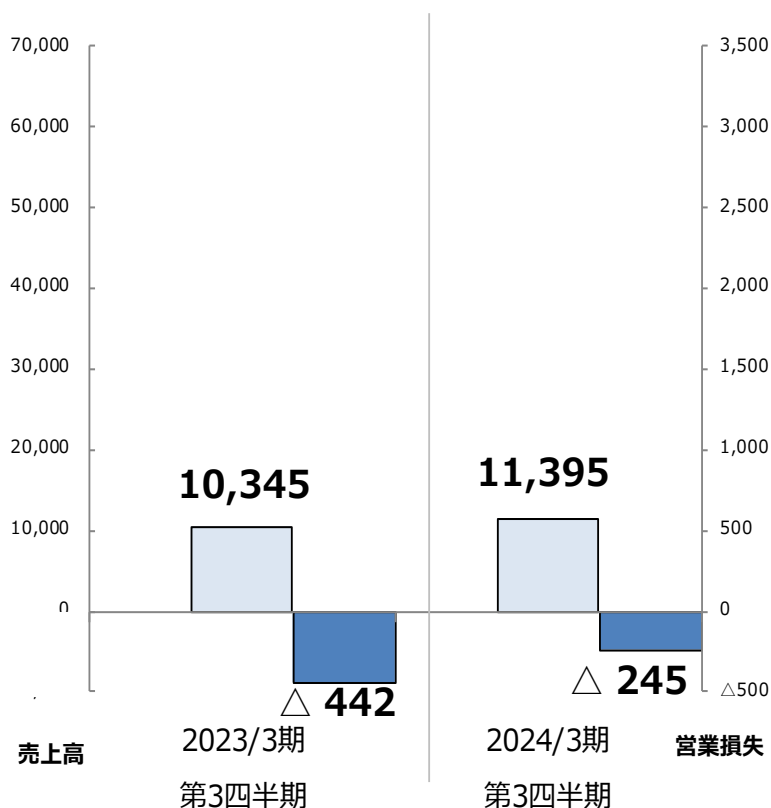
## 欧州

(内部取引消去前)

前年同期比

◎増収/増益要因 △減収/減益要因

□売上高  
■営業損失



**【売上】 +1,050 (+10.1%)**

- ◎乗用車関連の半導体供給不足が緩和されたことによる受注増
- ◎非自動車用軸受（中高速エンジン用等）の需要増や開拓による受注増

**【営業損失】 +197 (-)**

- ◎増収による影響



### 【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその現実を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、大同グループは今回の発表内容に対しまして、法令、規則の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表、発表する義務を負うものではありません。従いまして、これまで発表しました「業績見通し概要」などの将来の記述に全面的に依拠しての投資判断などは差し控えるようお願い致します。

### 【本資料における表示方法】

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：表示単位未満を四捨五入